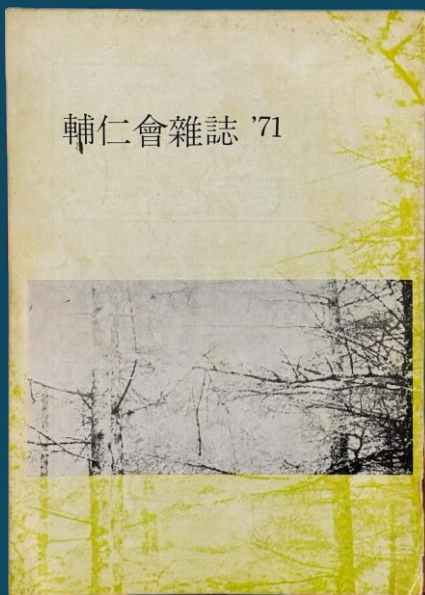


2024年度学芸員課程博物館実習展覧会

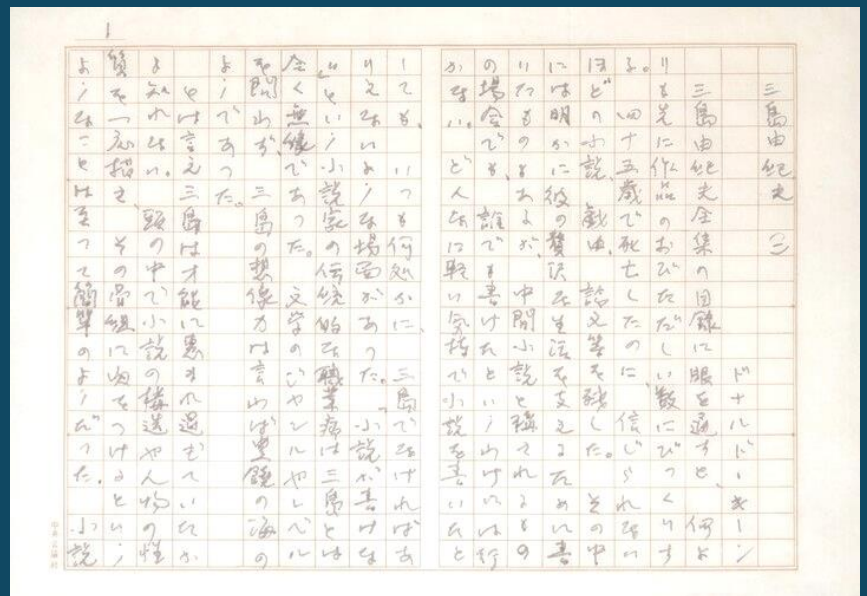
三島由紀夫とドナルド・キーン

素晴らしき出会いから70年

Yukio Mishima & Donald Keene
The 70th Anniversary of Their Amazing Encounter



三島由紀夫特集が組まれた『輔仁会雑誌』194号



三島由紀夫とその文学について論じたドナルド・キーンの直筆原稿



ドナルド・キーン愛用のペーパーナイフ

2024.11.18(月)
~12.20(金)

開館時間: 平日 9:00~16:30
土曜日 9:00~12:00
但し11月30日(土)は16:00まで開館
休館日: 日曜・祝日
入場料: 無料

学習院女子大学
2号館文化交流ギャラリー

主催: 学習院女子大学
指導教員: 牧野元紀(学習院女子大学教授)
企画: 学習院女子大学2024年度博物館実習ⅡA受講生
後援: 一般財団法人ドナルド・キーン記念財団
学習院輔仁会雑誌編集委員会

ごあいさつ

本年は三島由紀夫とドナルド・キーンが知り合って70年となる記念の年にあたります。二人の出会いは1954年11月、三島29歳、キーン32歳のときでした。以来、二人は生涯の友として親交を深めました。彼らは日本と西洋の古典文学に深い造詣を有すると同時に、現代文学の国際性と普遍性にも強い関心を抱いていました。二人は多くの議論を重ね、キーンは多くの三島作品を世界に紹介しました。彼らの揺るぎのない信頼関係は、三島が自決の直前にキーンへ手紙を書き残したことからもうかがえます。三島の訃報にふれたキーンは、「私は無二の親友を失い、世界は偉大な作家を失った」と悲歎しました。しかしキーンの心のなかで三島がその後も生き続けたことはその文学批評や証言の数々から明らかです。本展は二人の友情に焦点を当てながら、令和になった現在もなお三島の作品が輝きを失っていないことを、ドナルド・キーン記念財団および三島の母校である学習院の所蔵資料からご紹介いたします。

会期中のイベント

「三島由紀夫とドナルド・キーン展」特別講演会&ビブリオバトル

日時： 11月30日(土) 10時～12時30分 (9時30分開場・受付)

第一部：キーン誠己氏講演会 10時～11時20分

キーン誠己氏にご登壇いただき、養父であるドナルド・キーンからみた三島由紀夫についてお話いただきます。

第二部：三島作品ビブリオバトル 11時30分～12時30分

本展を企画した博物館実習生が、自分たちでセレクトしたおすすめの三島由紀夫作品についてビブリオバトルを行います。皆さまにあらためて三島作品にご関心を抱いて頂ける機会となればと思います。

会場： 学習院女子大学 2号館 3階 236教室

お申し込み： 事前予約制 (※11/29(金)正午〆切)

※右のQRコードよりお申し込みください。

※第一部、第二部どちらか一方のみのご入場も可能です。



SNS

本展公式Instagramでは博物館実習生の視点で、三島由紀夫氏とドナルド・キーン氏ゆかりの地や作品を様々な形で紹介しております！ フォローいただけますと幸いです！

InstagramアカウントID : @exhibit.gwc



〒162-8650 東京都新宿区戸山3-20-1

交通案内

東京メトロ副都心線「西早稲田」駅下車、3番エレベーター口 徒歩1分

東京メトロ東西線「早稲田」駅下車、徒歩10分

JR山手線・西武新宿線「高田馬場」駅下車、徒歩15分

